

■中牟田倉之助 海軍軍人。海軍兵学寮を統括，日本海軍のイギリス流発展の基礎を確立し，海軍で諸機関新設の都度初代。
なかむたくらのすけ
大塩平八郎乱1837＝ 肥前国佐賀城下蓮池町(佐賀市)で，佐賀藩士金丸文雄の次男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 8歳：
孝明天皇・・・1846＝ 9歳：

・・・・・・・1848＝11歳：母石子の中牟田氏をつぐ。

ペリー来航・1853＝16歳：

安政大地震・1855＝18歳：
松下村塾・・・1856＝19歳：_藩命により長崎に赴き，幕府の海軍伝習所に入り，

安政の大獄・1859＝22歳：卒業して帰藩。
桜田門外変・1860＝23歳：

禁門の変・・・1864＝27歳：

明治維新・・・1868＝31歳：_戊辰戦争に際して，佐賀藩の購入した軍艦孟春丸を指揮して奥羽沿岸に転戦し，
戊辰戦争終・1869＝32歳：_軍務官から旧幕府軍艦の朝陽丸艦長を命ぜられる。幕府の艦隊と箱館湾内で戦い，敵弾を火薬庫に受けて
撃沈され，火傷のあと視戦の英艦ヘーグ号に救助された。

初の日刊新聞1870＝33歳：_海軍中佐に任命され，
廃藩置県・・・1871＝34歳：*築地に創立された海軍兵学寮の兵学権頭に就任。秩序の乱れていた兵学寮をおさえられる人物がほかにお
らず，大佐から少将と急進して兵学頭となる。文官教官を海軍武官に任用するなど寮内を治めたあと，

明治6年政変 1873＝36歳：*欧州を視察し，イギリス海軍から教官団を招いて兵学寮の教育を改革，日本海軍がイギリス流に発展する
基礎を確立。

初の民間工場1875＝38歳：孟春ほかの艦隊を指揮して示威のため釜山に進み，
三つの反乱・1876＝39歳：長崎に帰着するまで海軍の西部指揮官を務める。海軍省副官となり，

西南戦争・・・1877＝40歳：_兵学寮を改称した海軍兵学校長を兼務。

大久保暗殺・1878＝41歳：横須賀造船所長となり，中將に進む。

・・・・・・・1880＝43歳：_東海鎮守府司令長官，

明治14年政変1881＝44歳：海軍大輔のあと，
新体詩抄・・・1882＝45歳：_ふたたび東海鎮守府司令長官(海軍機関学校長兼務)。

秩父事件・・・1884＝47歳：子爵を授けられ，_横須賀鎮守府が新設されると，初代司令長官となり，

帝国憲法発布1889＝52歳：_呉鎮守府新設に際しても，初代司令長官となる。

足尾鉋毒始・1891＝54歳：

大本教・・・1892＝55歳：_海軍大学校長兼海軍参謀部長，

郡司千島探検1893＝56歳：*海軍軍令部長に至るまで，ほとんどすべての役職において，初代として組織を固め，

日清戦争始・1894＝57歳：*日清戦争開戦に際して，枢密顧問官に退き，

ヒール国産化・1900＝63歳：

日露戦争終・1905＝68歳：

伊藤博文暗殺1909＝72歳：

明治天皇没・1912＝75歳：

民本主義・・・1916＝79歳：東京で_没した。